

債務負担行為見積書

局名 総務局

所属名 税務指導課 (直通 045-210-2330)

(単位 千円)

事項	税務システム開発運営費	

	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳			
		期間	金額	期間	金額	特定財源			一般財源
						国庫支出金	県債	その他	
見積額	4,225,706			平成29年度 ～ 平成37年度	4,225,706	-	-	-	4,225,706

査定額	4,225,706			平成29年度 ～ 平成37年度	4,225,706	-	-	-	4,225,706
-----	-----------	--	--	-----------------------	-----------	---	---	---	-----------

事業概要等

1 事業の概要

- (1) 目的 現行の税務システムに存在する様々な課題を解決し、将来にわたって安定的かつ効率的な運用を行うため、システム全体を再構築し、業務のさらなる適正化・効率化、経費削減及び職員の負担軽減を実現する。
- (2) 内容
 - ア 税務システムのWindows10対応
税務システムを搭載している共通利用パソコンは、現行OSであるWindows7のサポート期間が満了すること等に伴い、OSが順次Windows10(64bit版)へ移行することから、税務システムにおいて必要な改修を実施する。
 - イ 税務システムの再構築
税務システムをメインフレーム主体のシステムからサーバを利用したオープン系システムへと再構築する。

2 債務負担行為設定理由

- (1) 税務システムのWindows10対応
本事業については、2年程度の作業期間が見込まれるため、平成29年度から平成30年度までの債務負担行為を設定する。
- (2) 税務システムの再構築
システム開発等業務委託と運用業務委託を合わせて発注することは、経費面、業務面において有効であるため、開発期間(平成29年度～平成33年度)と運用期間(平成32年度～)について債務負担行為を設定する。

3 スケジュール

平成29年度～平成30年度：税務システムのWindows10対応
平成29年度～平成37年度：税務システムの再構築

4 限度額の積算内訳

各年度の業務内容に基づき算出

【調整の内容】

要求どおり計上。